

エリザベト音楽大学コンサートシリーズ

スピリチュアルコンサート

— 新任教員紹介コンサート —

公益社団法人 日本産業退職者協会広島支部 留学生支援コンサート



テノール
升島 唯博

2024年
6月7日(金)
18:45開演(18:00開場)

エリザベト音楽大学
セシリアホール
(広島市中区鞆町4-15)

一般前売2,000円
(当日2,500円)

全自由席



ピアノ
小蔭 寛二



ピアノ
小林 知世

前売券取扱い

ぴあ各店(Pコード265-588)

- ◆WEB⇒<http://pia.jp/t> [PC/携帯]
- ◆店頭⇒セブン-イレブン「マルチコピー機」

エディオン広島プレイガイド 東館9F
☎082-247-5111

【テノール独唱】

- W. A. モーツァルト：ラウラによせる夕べの想い
 - F. メンデルスゾーン：夜の歌／歌の翼に
 - J. ブラームス：子守歌
 - F. ヴォルフ：祈り
 - R. シュトラウス：万霊節／献呈
 - 武満 徹：小さな空
- ほか

【ピアノ独奏】

- R. シューマン：パピヨン Op. 2
- C. フランク：プレリュード、フーガと変奏曲 Op. 18
(H. パウアーによるピアノソロ版)
- M. ラヴェル：管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」

※曲目は変更する場合がございますので予めご了承ください。

※開演中の客席への出入り及び演奏会場内での写真・録音・録画は固くお断りいたします。

※小学生未満のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

主催：エリザベト音楽大学 共催：公益社団法人 日本産業退職者協会広島支部
お問い合わせ：広島市中区鞆町4-15 エリザベト音楽大学 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004(直通・平日9:00~16:30)
082-221-0918(代表) E-Mail: enso01@eum.ac.jp <https://www.eum.ac.jp/>



Profile



升島 唯博 Tadahiro Masujima

広島出身。エリザベト音楽大学声楽学科卒業。ドイツ、デトモルト音楽大学を卒業し声楽教育ディプロム取得。ドイツ、リュウベック音楽大学を卒業し、声楽ディプロム取得。同大学院を主席で修了。オランダ、オイレギオ国際声楽コンクール優勝。約13年のドイツ滞在中にハンブルク州立劇場、ミュンスター歌劇場、ブレーメン歌劇場、ハイデルベルク歌劇場他、ドイツ各地の劇場でソリストとして舞台に立つ。スイス、ベルン歌劇場にて初演されたノアゴー作曲オペラ『神々しいチポリ』はCD化されている。2012年より日本での活動を開始し、新国立劇場、小澤征爾音楽塾、東京二期会、日生劇場等で『ラインの黄金』ローゲ、ミーメ、『愛の妙薬』ネモリーノ、『フィデリオ』ヤッキーノ、『魔笛』モノスタス他で出演。これまでに小澤征爾、飯守泰次郎、マウリツィオ・ベニーニ、シモーネ・ヤング、下野竜也他、宮本亜門、カタリーナ・ワグナー、栗山昌良他、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団他、様々な指揮者、演出家、オーケストラとオペラやコンサートで共演。セイジ・オザワ松本フェスティバルにおいてマーラー交響曲第2番「復活」のドイツ語ディクション指導として参加。2019年度より2023年度まで愛知県立芸術大学声楽非常勤講師、東京国際声楽コンクール審査員、2023年度より東京二期会オペラ研修所声楽、ドイツ語ディクション講師として後進の指導にあたる。声楽を小野村和弘、ウタ・シュプレッケルゼン、フランツ＝ヨーゼフ・アインハウスに師事。東京二期会正会員。

2024年4月よりエリザベト音楽大学専任講師。



小蔦 寛二 Kanji Kozuta

広島県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、同大学院修士課程を修了。大学院在学中よりドイツに渡り、ハノーファー音楽演劇大学、ベルリン芸術大学を修了。また、カッセル市立音楽院では室内楽科にて研鑽を積む。ピアノを牛ノ浜由紀、小嶋素子、西川秀人、渡辺健二、原田英代、アイナル・ステーン＝ノクレベルグ、クリスティアン・ペーターゼン、マルクス・グローの各氏に師事。

第18回ブラームス国際コンクール(オーストリア)ピアノ部門第2位、バルチック国際ピアノコンクール(ポーランド)第1位、パルマ・デ・マヨルカ国際ピアノコンクール(スペイン)第2位、ローマ国際コンクール(イタリア)ピアノデュオ部門第3位、モノポリ国際ピアノコンクール(イタリア)第5位など、多くの国際コンクールで入賞。

日本とドイツ各地をはじめ、オーストリア、ポーランド、スペイン、韓国でもリサイタルなど演奏を行なう。

ソリストとして、広島交響楽団、ケルトナー交響楽団、モニューシュコ音楽アカデミー交響楽団とピアノ協奏曲を共演。ソロの他、ピアノデュオや室内楽、声楽伴奏、オーケストラの客演ピアノなど、幅広く演奏活動を行なっている。2023年、一般財団法人ケンシン地域振興財団より第39回県民文化奨励賞を受賞。

2024年4月よりエリザベト音楽大学専任講師。



小林 知世 Tomoyo Kobayashi

エリザベト音楽大学、同大学院修士課程を首席で修了し、セシリア賞を受賞。同大学院博士後期課程を修了し、Paul Wittgenstein 《左手のためのピアノ教則本について》で博士号(音楽)を取得。

在学中、定期演奏会のソリストとして大学オーケストラ(指揮:秋山和慶氏)と共演。第140回日演連新人演奏会にてグリーグ作曲ピアノ協奏曲を広島交響楽団(指揮:小田野宏之氏)と共演するほか、第16回レクイエム イン ヒロシマにて、プロコフィエフ作曲ピアノ協奏曲第4番(左手のために)を広島センチュリー管弦楽団(指揮:齋城英樹氏)と共演。第77回読売新人演奏会をはじめ、ドイツや東南アジアなどの音楽祭に招待演奏者として参加。ベルリンにてG.サヴァ氏に学ぶ。サンタ・イザベル音楽大学にてマスタークラスを行うほか、室内楽やアンサンブルピアニストとして国内外の演奏家と共演している。

これまでにピアノを谷口博子、松村英臣、前田麻紀、岡本えり、高良芳枝、柴田美穂、J.ルヴィエの各氏に、作曲・対位法を平井正志氏に師事。現在、エリザベト音楽大学非常勤副手、付属音楽園講師。TA-YACピアノスタジオ講師。広島アーティスト協会正会員。

共催団体 公益社団法人日本産業退職者協会広島支部

(公社)日本産業退職者協会広島支部は平成4年に設立。平成5年には社会貢献の目的で留学生交流会を開催しました。爾来20年にわたる交流事業を評価され、平成26年9月内閣府の社会参加章を受章しました。また、(公財)広島平和文化センターの「ひろしま留学生基金」に毎年寄付を行い、留学生支援に貢献しています。